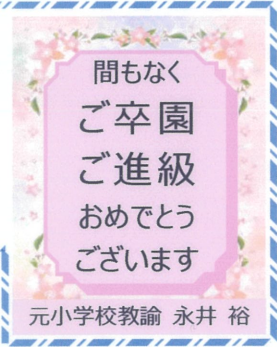




永井先生からのメッセージ No.19

～元小学校の先生から保護者の皆さんへ～

2024年 3月 8日 野毛山幼稚園



【よきタイミング】

★★★食事も、結婚にも、『よきタイミング』というものがあるようです。そして、それは、子育てにも。★★★

① たとえば、「人をねたむ」という感情は、一般的に4才前後に芽生えるのだそうです。ですから、その時期を逃さず、「意地悪をするのではなく、相手が喜ぶことをするのが、いい子なんだよ。」と言って聞かせる。これが、子育ての『よきタイミング』ということになるのだと思います。

② しかし、そのタイミングも、子どもによって様々という場合もあるかと思えます。例えば、私がお紹介する下の動画は、保護者の方々にご覧いただき、いつか『よきタイミング』で お子様に見せていただければ。

『やさしさの連鎖』「かわさきパラムーブメント」(4分15秒) ※私は時々見て、イヤされてます。

③ ところで、この春、小学校の教科書がリニューアル。3～6年生の道徳には、「SNSいじめ」など深刻化が予想される問題も取り上げられていますが、どうしても「問題が起きてからの対症療法」ばかり……。しかし、それでは遅いのです。最も大切なことは、感性豊かな幼少期に『よきタイミング』で、様々な『情操教育』を授けることです。(先月の『2024のげやまミュージアム』は、そのお手本のような活動の1つです。)

具
体
例

- ④ 歌ったり踊ったり ⑤ 絵を描いたり物を作ったり ⑥ 遊んだり運動したり ⑦ 生き物に接したり命について考えたり
- ⑧ 友達とかかわる・思いやる ⑨ 物語の世界を想像する・感動する ⑩ 様々な自然、芸術や文化にふれる など

④ 『スイトピー組の宝物』。今年も卒業記念として「素敵な思い出の映像」が贈られるとのこと。それはお子様の成長の記録であると共に、『よきタイミングの情操教育』の記録と言えるのではないのでしょうか。スイトピー組の皆さん、『野毛山プライド』を胸に、自信をもって、小学校生活を歩んでいってください。

【 小学校・入学式 ～撮影・あれこれ～ 】

- ①「SNSにあげない」という約束のもと、「撮影はOK」だと思われま。
- ②新入生入場。やや早歩き。「よきタイミング」で撮影できますように。
- ③そして、スマホで我が子を追いかけて、「学校長の話」あたりで一休み。
- ④中には、退場の際に、クラスのメンバーを撮っている方もいるようです。
「〇〇ちゃんと仲良しになったよ」「どの子？」と見返すためでしょうか。
- ⑤Aさんは、体育館の一番後ろの席。そこに、三脚とビデオカメラをセット。学年全員の入場を、最初から最後まで撮影。我が子は追わずに。
- ⑥いったいなぜ？ 私がその答えを知ったのは、6年後の卒業式前日でした。その学校では、PTA役員を務めた方は、我が子の卒業式での座席を自由に選べるようになっていました。「どのお席がいいですか？」
「体育館の一番後ろをお願いします」「えっ、前じゃないんですか？」

- ▶卒業生入場。一番後ろのAさん。「入学式」と全く同じアングルから、学年全員の入場シーンを収める。
- ▶そして、編集。入学式、卒業式、2つの入場シーンが、左右2画面に映し出されるように。そして…
- ▶数日後。卒業生と保護者が集う会でこの映像を公開。他の映像と共にDVDに収め、全員に配布。この『よきタイミング』こそ、Aさんの6年越しの夢だったのです。
- ▶我が子と共に育つ仲間。その一人一人に我が子と同じ愛情を注ぐ。こうした「人間力」も、情操教育の賜物(たまもの)なのかもしれません。